

ZEH推進協議会 運営委員会(第12回)

日時：平成30年10月31日(水)

15:00～17:00

場所：三菱電機東京本社 26階会議室

参加委員：小山、布井、関・田代（エコワークス福岡・スカイプ参加）

司会進行：荒川

オブザーバー：筒井（パナソニック）、加納・佐藤（三菱電機）、

澤崎（リクシル）、中村

欠席：宇治田、高橋、吉井

※敬称略

議事録

1.開会

2.運営委員会 前回議事録の確認

3.入退会報告(資料1)

- ・ビルダー会員5社、賛助会員3社、協力会員2社 増加
- ・現在、設立構想中の住宅専門のFPの団体が加入。太陽光発電の経済メリット等、住宅ローンとも絡めてPRして欲しい。
- ・太陽光発電の長期経済メリットについてのFP的な説明についての連携(LRコンサルティング)
- ・資料1 家のFP（ファイナンシャルプランナー的）団体が立ち上がる（資料で太陽光発電の長期経済メリット FP的な側面も取扱う予定）ZEH協としても連携していく予定

4. 議題

(1) ZEHビルダー委員会の開催について

- ・ LIXIL 様主体で、視察研修会的なものを定期的に年に 2~3 回開催して欲しい。
- ・ ZEH 協の会員を増やす方法を ZEH 協と連携してやっていきたい
- ・ 補助金の運用の取りまとめ
- ・ 経産省・環境省に陳情するような役割も担
- ・ 取り急ぎ、年内東京で下打ち合わせしたい

(2) 会員募集について(無償メルマガ会員、ZEHビルダーへの DM、入会促進)

- ・ ZEH マスター (アスクラスト) の本に広告、11 月からメルマガスタート
- ・ 無料メルマガ会員募集 (国の情報など公益性高いものは OPEN にする & 広告)
- ・ 賛助会員の情報も載せていきたい
- ・ 11 月からメルマガ会員募集する 1 社 1 アカウント
- ・ ZEH 率、何棟 ZEH を建てた、住所、名前なども登録
- ・ 和歌山は ZEH 協加入 0 件
- ・ 人口対比で多いのは愛媛
- ・ ZEH 協のメンバーはすくなくとも 50% ZEH を達成したい

これから会員を増やすアイデアは？

- ・ ZEH 協の運営が賛助会員の会費で賄えるなら、無理して有料のビルダー会員を増やさなくてもいいのでは？メルマガで情報さえ取得できたら良いという感が方も一理ある。
- ・ 現在 JBN 大野会長に協力を求めている (荒川)
- ・ YKK のシンポジウムのきっかけで入った方は 1 社 (小山)
(会員費は安く設定しているが、明確な経済メリットが見えない限り入会しない。)
- ・ ZEH ビルダー登録 7000 社あるが、動いている 2000 社のうちの 7-8 割が有料会員になれば、ゴールでも良いと考えている (小山)
- ・ 広告載せたから入るタイミングは終わった。イベントの度に PR していこう！ (布井)
- ・ メルマガ会員が増え、一般会員が減っても仕方ない

(3) 自治体の建築主事への情報提供について (建産協テキスト、ZEH 協セミナー招待、自治体 ZEH セミナー実績など)

- ・ 自治体主催のセミナーが増えていくはず
- ・ 小山さんの代わりの登壇者を発掘したい (地域別)

(4)【ZEH のつくり方】(仮名称)書籍の販促

- ・本は割引で買えるので、ZEH 協にも販促に協力して欲しい

5. セミナー開催計画及び実施報告

(1)ZEH 協会員向けセミナーアンケート報告

- ・昨年よりセミナー参加者が減っている
- ・マンパワーの問題
- ・ZEH ビルダーの問題意識を賛助会員の方も読み取ると良いのでは？
- ・躯体はいいけど、太陽光発電のメリットを発表する人がいない

(2)青森県 ZEH 勉強会アンケート報告(9/27)

- ・青森からセミナー140 万円の予算で業務受託（珍しく工務店が多い）
- ・県が主催しているので ZEH 協の周知には良い、連携は大事
- ・熊本は登壇のみで報告書もないが、意見交換会をした

①来年は熊本本社の 5 つ星 ZEH ビルダーを県の HP に載せる

②5 つ星を取得した会社がセミナーを開催

③5 つ星ビルダーの成功例発表会を開催

理想は各都道府県にて広がっていくこと。1 つ事例ができると横展開しやすい

(3) 第 3 回 ZEH+&LCCM 住宅視察研修会 アンケート報告

- ・建物見学の満足度が高い
- ・現実感のあるモデルハウス
- ・ZEH 協としても先導的なメンバーには LCCM 住宅をして欲しい

(4)第 4 回 ZEH+&LCCM 住宅視察研修会 開催報告

- ・第 4 回は鹿児島県主催の団体の方が来る。県がバスを用意
- ・第 3 回からは協力会員の方も来れるようになった（賛助会員の同行枠）
- ・3 月、来年 4 月以降分は非会員にも内容を公開予定。※ただし値段には差別化
- ・基本的に参加費は据え置き予定
- ・一般会員はこれに参加したら会員に入れることにしたどうか？初年度は無料はどうだろう？（荒川さん）
- ・佐賀県の電気工事組合が参加したいという声がある。電気工事会社（協力会員）も入会できるように考えたらどう？（筒井さん）
- ・電気工事店が身に来たいというのには理由がある。工務店から言われたからそうだったので

か、自分たちで考えたのか？

・現状、電気工事会社が協力会員として入ってもらうには？年会費は無料。無料会員のと同じレベルのメール配信。

※ZEH+&LCCM 住宅視察研修会について、その他

- ・ハウスメーカーの上限は 50 棟
- ・アンケートがあったので、できなければ国交省が他の会社に割り振りするだろう
- ・例えば一条工務店などが予算を使うのでは？
- ・長期で使えるし、補助金慣れしている会社は使い勝手も良いし紹介して欲しい。

6.検討事項

(1)研修・セミナーなどの件 情報が求めている方にしっかり行き届いているか？

- ・エコワークス作成の「ZEH 研修テキスト」を 20 社 1 県 5 万円で配布。好評で提案力が増した。
- ・中堅ビルダーでも太陽光発電のセミナーはしていない現状
- ・「出力制限 Q&A」「2019 年問題について」を特に ZEH 協のセミナーでも力を入れたい。(賛助会員でこういう資料作ってはどうか？)
- ・メーカーがつくるとカタログになってしまう、良い方法を考えたい。(加納)
- ・ビルダー向けに直接作るとはなかなかしない。パワーポイントの方が良い
- ・進んでいるメーカーさんには PV の容量と家族構成なども載せようか？(佐藤)
- ・エコワークスはできるけど、一般は無理なので、そういうツールを増やしバージョンも上げていこう (加納)

(2)出力制限の件

- ・出力制限の件は太陽光発電委員会にお願いしたけれど、お客さんはとても不安。新聞の書き方も悪い。
- ・エネルギー自立としても視点は高まっている。災害 自立方は追い風だけど、新聞の威力はすごい
- ・住宅系のメディアは真実を書いてくれるけど、新聞の見出しでは不利。間違った認識を持たない方法はないのか？
- ・九州以外でも長野等、全国的にダメだと誤認識されている
- ・ソーラーパートナーズは JPEA の対応が遅いので先行してメディアで発信している
- ・住宅用は大丈夫だよと、もっと譲歩言う発信していこう

7.「プロジェクトの進捗状況及び報告」

(1)太陽光発電委員会(議事予定含む)

- ・太陽光発電委員会 13時か高度エネマネ 15時から太陽光発電委員会

(2)LCCM 住宅補助事業(関)

- ・ZEH協のLCCM180万の件。200棟の枠、41けん応募があり、申し込みは順調。ここ2.3日で青森・岩手・山形などから問い合わせあり
- ・12月1日より申込のルールを変更する。
- ・LCCMは核として続く 来年以降も続ける

(3)IoT(次世代住宅型)補助事業(関)

- ・ZEH協のIoT 52棟採択 現在23棟申し込み最終的に52棟まで届かないかも
- ・国土交通省と密に連絡を取りながら進めているがやることが多い
- ・LIXILのIoTは電動シャッターは寒冷地では使いにくいということが判明(澤崎)
- ・LIXIL(スーパーウォール) 50棟貰って20棟くらい動いている(澤崎)
- ・年内に完了届出せと言われ、減った。(澤崎)
- ・チャンスがあればまた応募したい。(澤崎)

(4)Jクレジット化

保留中

(5)来年度の計画

- ・発表会など地方開催したい。大都市では来ないけど、地方都市には人も集まる
- ・1年に一回はシンポジウムをやったほうが良い
- ・SIIの発表会は東京と大阪しかやらないので、地方開催もあつたらいい
- ・建てたビルダーに話してもらったり、田辺先生や植田先生や秋元先生の出番があると良い
- ・地方開催は自治体に声を掛けてもいいのでは？(京都 岡山 横浜 など打診があるところに聞く)
- ・地域で中心になってやって欲しい。協力会員の各地域団体に作った青森・熊本の事例をパッケージングにして地方開催を持ちかけて欲しい(情報提供を了解してもらう)
- ・シンポジウムは、「2019年問題」など、サブテーマがあるといい
- ・ZEHの説明会は全都道府県でやって欲しいと要望を提出した
- ・SIIのものを誰かが勝手に研修していいのか？(エネ庁に確認する)
- ・全国的にZEH協の会員が分布すればいい
- ・施主の声、購入の動機、光熱費、室内環境が良くなった等の現場の声

- ・事例集には光熱費の実態、太陽光のシミュレーションを載せたい
- ・施主に向けた本で一般向けが良い
- ・SMARTHOUSE の次号：防災センターの役割を果たす ZEH の家（ZEH の家に携帯が充電するために集結された）
- ・シンポジウムのテーマの 1 つに IoT LCCM 実例報告をやれば良い。
- ・5 月 7 か 7 月以降が良い 4 つ星の寒冷地の事例も載せた方が良い
- ・低炭素協会も連携を考えなくてはいけない。
- ・今回のシンポジウムには低炭素協会加入させよう（低炭素協会は ZEH ビルダーの知り合いがないので ZEH 協に協力的）
- ・低層 ZEH に関心がある方は小山さんが紹介してくれる
- ・低層 ZEH 130 件 北海道と沖縄はゼロ
- ・シンポジウムには、低層 ZEH の説明会も入れよう。（集合住宅の ZEH のロードマップを修正中なので、秋元先生に要点を話してもらったかどうか？）
- ・すそ野を広げるには実務者レベルのポテンシャルを UP したい
- ・大学で講座・勉強・フォーラム開催（実務者向けで東北工業大学 吉野先生）
- ・ZEH 協と「住まいと環境 東北フォーラム」等の連携検討。
- ・ビルダー目線では、隣のビルダーさんが何しているとかが気になる（ZEH の棟数）
- ・外皮計算のセミナーなどは継続してやっていかないといけないだろう。
- ・SII の報告は、ZEH の補助金の県別内訳だけで、詳細がわからない。（来年の SII の報告では、県別で報告してもらおうと良いよね。）小山さんがエネ庁にメール
- ・次年度は ZEH に対して好印象になるものが欲しい 例：ZEH オブザイヤー（仮）欲しい、意匠性、テクニク賞など
- ・ランキングは重要、PR 効果はあると思う
- ・超長期戦略として、どの会社さんも企業版 SBT に参加した方が良い
- ・3～5 年先には、ZEH ビルダーも ZEH を推進するだけでなく、企業としても脱炭素をしている企業を応援すべきと提案。数年後そうなるだろう。
- ・中手企業版の設定支援事業が本年度から始まっている、合計 5 社採択 エコワークスは 2030 年に向けてガソリン代や光熱費も調べたり、活動をしている。
- ・ZEH 協も協力するっていう意味 ZEH ビルダーはなりえるので知っておいてほしい。

今回は 1 月 22 日 10 時から運営委員会 三菱電機本社会議室

8. 閉会